

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2014-223541(P2014-223541A)

【公開日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2014-066

【出願番号】特願2014-153299(P2014-153299)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月27日(2014.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の図柄が付されているとともに回転可能な複数のリールと、

前記複数のリールの回転を開始させうる始動操作手段と、

前記始動操作手段が操作されたことに基づいて、複数の役のなかからいずれかの役を選び出しうる内部抽選を行なう抽選手段と、

回転状態にある前記複数のリールを、遊技者操作により個別に停止させうる複数の停止操作手段と、

各リールに配置された図柄の一部が表示される表示手段と、

前記停止操作手段が操作されると、前記内部抽選にて選び出された役に対応する図柄組合せが前記表示手段に停止表示されうるように、前記リールを停止制御する停止制御手段と、

遊技者に有利な第1の特別ゲームまたはこの第1の特別ゲームよりも遊技者に有利な第2の特別ゲームを実行可能な特別ゲーム実行手段と、

前記第1の特別ゲームおよび前記第2の特別ゲームのいずれもが実行中でない遊技状態として、前記第2の特別ゲームよりも前記第1の特別ゲームが実行されやすい第1遊技状態と、前記第1の特別ゲームよりも前記第2の特別ゲームが実行されやすい第2遊技状態とのうちいずれかに制御可能な遊技状態制御手段と、

を備え、

前記複数の役には、前記内部抽選において選び出されたときに、回転状態にあるリールが特定条件を満たすかたちで停止操作されない限り、前記表示手段に特定図柄組合せが表示されることとなる特定役が含まれており、

前記遊技状態制御手段は、

前記第1遊技状態にあるときと前記第2遊技状態にあるときとで、前記特定図柄組合せが停止表示されたとしてもその後の遊技状態において遊技者にとっての有利度合いが異なりうるよう、前記第1遊技状態にあるときに前記特定図柄組合せが前記表示手段に停止表示されると当該第1遊技状態から前記第2遊技状態に移行し、前記第2遊技状態にあるときに前記特定図柄組合せが前記表示手段に停止表示されると当該第2遊技状態から前記第1遊技状態に移行しうる遊技状態移行制御手段と、

前記内部抽選において前記特定役が選び出されたにもかかわらず、回転状態にあるリールが前記特定条件を満たすかたちで停止操作されたことによって前記特定図柄組合せが前記表示手段に停止表示されなかったときには、前記第1遊技状態と前記第2遊技状態との間で移行することなく、これまでの遊技状態を継続する遊技状態継続制御手段を有し、

前記特定図柄組合せには、前記第1遊技状態にあるときに前記表示手段に停止表示されると当該第1遊技状態から前記第2遊技状態に移行される第1特定図柄組合せと、前記第2遊技状態にあるときに前記表示手段に停止表示されると当該第2遊技状態から前記第1遊技状態に移行される第2特定図柄組合せとが含まれる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技状態が前記第1遊技状態と前記第2遊技状態とのうちいずれにあるかを、画像で表示する状態表示手段をさらに備える

請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記状態表示手段は液晶表示装置であり、

前記第1遊技状態と前記第2遊技状態とに関連付けられたキャラクタが前記液晶表示装置に表示されることによって、当該第1遊技状態と当該第2遊技状態とのうちいずれの遊技状態にあるかが示される

請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

請求項1に記載の遊技機は、複数の図柄が付されているとともに回転可能な複数のリールと、前記複数のリールの回転を開始させうる始動操作手段と、前記始動操作手段が操作されたことに基づいて、複数の役のなかからいずれかの役を選び出しうる内部抽選を行なう抽選手段と、回転状態にある前記複数のリールを、遊技者操作により個別に停止させうる複数の停止操作手段と、各リールに配置された図柄の一部が表示される表示手段と、前記停止操作手段が操作されると、前記内部抽選にて選び出された役に対応する図柄組合せが前記表示手段に停止表示されうるように、前記リールを停止制御する停止制御手段と、遊技者に有利な第1の特別ゲームまたはこの第1の特別ゲームよりも遊技者に有利な第2の特別ゲームを実行可能な特別ゲーム実行手段と、前記第1の特別ゲームおよび前記第2の特別ゲームのいずれもが実行中でない遊技状態として、前記第2の特別ゲームよりも前記第1の特別ゲームが実行されやすい第1遊技状態と、前記第1の特別ゲームよりも前記第2の特別ゲームが実行されやすい第2遊技状態とのうちいずれかに制御可能な遊技状態制御手段と、を備え、前記複数の役には、前記内部抽選において選び出されたときに、回転状態にあるリールが特定条件を満たすかたちで停止操作されない限り、前記表示手段に特定図柄組合せが表示されることとなる特定役が含まれてあり、前記遊技状態制御手段は、前記第1遊技状態にあるときと前記第2遊技状態にあるときとで、前記特定図柄組合せが停止表示されたとしてもその後の遊技状態において遊技者にとっての有利度合いが異なりうるよう、前記第1遊技状態にあるときに前記特定図柄組合せが前記表示手段に停止表示されると当該第1遊技状態から前記第2遊技状態に移行し、前記第2遊技状態にあるときに前記特定図柄組合せが前記表示手段に停止表示されると当該第2遊技状態から前記第1遊技状態に移行しうる遊技状態移行制御手段と、前記内部抽選において前記特定役が選び出されたにもかかわらず、回転状態にあるリールが前記特定条件を満たすかたちで停止操作されたことによって前記特定図柄組合せが前記表示手段に停止表示されなかったときには、前記第1遊技状態と前記第2遊技状態との間で移行することなく、これまでの遊技状態を継続する遊技状態継続制御手段を有し、前記特定図柄組合せには、前記第1遊技

状態にあるときに前記表示手段に停止表示されると当該第1遊技状態から前記第2遊技状態に移行される第1特定図柄組合せと、前記第2遊技状態にあるときに前記表示手段に停止表示されると当該第2遊技状態から前記第1遊技状態に移行される第2特定図柄組合せとが含まれるものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載の遊技機において、遊技状態が前記第1遊技状態と前記第2遊技状態とのうちいずれにあるかを、画像で表示する状態表示手段をさらに備えることが好ましい(請求項2)。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2に記載の遊技機において、前記状態表示手段は液晶表示装置であり、前記第1遊技状態と前記第2遊技状態とに関連付けられたキャラクタが前記液晶表示装置に表示されることによって、当該第1遊技状態と当該第2遊技状態とのうちいずれの遊技状態にあるかが示されることが好ましい(請求項3)。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】